

# 野外×アート×まちなか

# トロールの森2019

テーマ 囁き whispers

2019.11.3 sun - 11.23 sat

都立善福寺公園(上池) 杉並区立桃井第四小学校 西荻窪~善福寺周辺店舗・ギャラリー

主催 トロールの森実行委員会

後援 東京都東部公園緑地事務所

杉並区

杉並区教育委員会

協力 都立善福寺公園

杉並区立桃四コミュニティスクール

関東バス株式会社

JR西荻窪駅

遊工房アートスペース

ゆうゆう善福寺館

中央線あるあるプロジェクト

助成 企業メセナ協議会 助成認定活動

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京









# 囁き

「トロールの森」は、杉並区の都立善福寺公園を舞台に2002年にスタート した国際野外アート展です。2013年からはJR西荻窪駅周辺へとエリアを 拡大し、リノベしたカフェや自然食レストランでの公演や街を再発見する プロジェクトなど多彩なアートを展開してきました。

2019年のテーマは「囁きwhispers」。木々のそよぎ、水面をわた風、虫の羽音。 自然界は多様なささやきに満ちています。街を歩けば、雑踏や歓声にかき消 されそうな小さな音。耳元のひそやかな声は、あなただけに伝えたい真実? それとも誘惑? ささやきを漢字で書くと、口が一つに耳が三つ。見ることや 話すことより、じっと聴くこと、3つ目の耳で本当に大切なことを聴き分ける ことが求められているのかもしれません。

# whispers

The sigh of trees, the wind passing over the water's surface, the beating wings of an insect: The natural world is filled with various whispers. When walking through the town, such infinitesimal sounds are likely to be drowned out by the traffic and crowds.

Falling only on your ears, do these small voices wish to convey the truth? Or are they an invitation? The Chinese character for "whisper" (囁) combines the radicals for "mouth" and "ear," with "ear" repeated three times. Rather than speaking or observing, perhaps what is needed to discern things of real importance is to listen with all our senses.

# 野外×アート(都立善福寺公園)

**Open Air Exhibition** 

野外ならではのダイナミックな作品や自然を背景にしたパフォーマンス、公園の秋の深まりとともに表情を変えるインスタレーションに注目!

Keep a look out for dynamic works of art and performances befitting the park setting, and installations that alter their expression together with the deepening autumn color





身体表現/イベント タイムテーブル

身体表現 空間展示系の パフォーマンスやWS

● =公園内周遊

● =クヌギ広場★ =遊具広場付近

=野外ステージ

0 =展示作品付近

# 黒野 裕一郎

Chrono Yuichiro

### ラストダンス

この公園に敬意を払い、寄り添うような作品を作ります。

**Last Dance** 

I will make a work that pays homage to this park, nestled within its borders.





**Book Project:** 

#### 1981年 大分県生まれ 2005年 東京芸術大学壁画専攻修了 2007年よりトロールの森に参加

# アトリエそら+

Atelier SORA Plus

#### アトリエそら

善福寺にある造形教室。プロジェクトでは桃四小 「アートキッズ」で子ども達と制作を担当。代表は 早内佳子。

#### +(プリュス)

海外の「Free Little Library」に想を得た、本を 楽しむためのワークショップとアクティビティの チーム。

# マイ本棚を巡る冒険 第3巻

こどもたちとのワークショップで作ったリンゴ箱のマイ本棚た ちをステージ近辺に展示。いろいろな人たちから本を提供いた だいて本棚に入れ、公園で本を読む時間を楽しみます。朗読 WSも決行!

# The 3rd Adventures of My Book Shelf

Book cases made from apple boxes in children's' workshops will be set upon the Trolls stage, inviting passers-by to enjoy reading in the park. There will also be some reading workshops!



# 第二次谷杉(ミミトメ)

# Dainiji Tanisugi (Ears+Eyes)

2010年:ミミトメ名義で活動開始、第1回公演「パン とサーカス、その他の事」。2011年:第2回公演「マゴ ビキ、あるいは他人の靴の履き方 Requotation or If you wear the shoes of others,

## 声の小さな舞台俳優

ミクスト・メディア

演劇の枠組みを援用した観客参加型の演劇インスタレーショ ンです。善福寺池周辺4か所と葉月ホールハウスに小さな舞台 装置と台本が配置されています。台本の指示にしたがって、周 りの人にわからないように、ひっそりとセリフを読んでくださ い。5つの劇場をまわると、ぼんやりと物語が生まれるかも。

# Stage Actor/actress with a Small Voice

A participatory theater installation adopting the framework of theater. Small stage apparatus and scripts have been placed in four locations around Zenpukuji Pond and at Hazuki Hall House. Following instructions written in these scripts, please read the lines quietly so that the people around you don't notice. If you visit all five theaters, a loose narrative may begin to emerge.



# さくら・アリス

Sakura Alice

さくら・アリスは元々オーストラリア出身だが日本の ルーツもあり、日本では10年間活躍してきた。 現在 は横浜市に住まい、2016年から黄金町アーティス ト・イン・レジデンス・プログラムに参加。ミクスド メディア、インスタレーション、映像、パフォーマンス などを発表。

ハードル制作サポート 栗原元、杉山孝貴

On site support:

現地作品運営サポート \*ボランティア達、サポーター、皆さんに感謝いたします。

(Cooperation) Hurdles construction support Gen Kurihara, Kouki Sugiyama

\*Thank you to all supporters and voluntee who made this project possible



## 善福寺公園レッドカーペット、インテラクティヴワークウェイ、(ハードル/ゲート2019)

参加型インスタレーション

「レッドカーペット」を本来の使用慣習から拡張し、予想外な場 所や、公共的な場所に設置することを通し、この作品は地域に関 わりかけ、すべての訪問者に参加できる機会を与えている。今回 の展示ではハードルとゲートの立体インスタレーションを組み合 わせ、観覧者を瞑想的かつ体験的な本作品にさらに引き込む。

# Red Carpet in Zenpukuji Park, Interactive Walkway, (Hurdles and Gates 2019)

By extending the "red carpet" out from its original context and installing it in unexpected and public locations this work invites local engagement and gives the chance for all visitors to participate. On this occasion, the artist combined the installation with a procession of hurdles and gates to further engage visitors in an artwork both contemplative and experiential.





# **ZHANG Kexin**

シンガポール生まれのインテリアデザイナー。カナ ダで学び、現在日本で勤務中。インタラクティブな インスタレーション等のアート作品制作を楽しんで います。

### Whisper Tube

Whisper Tube(ささやくチューブ)は、2つの部分からなるイン スタレーションです。1つは糸電話を通して会話する経験を再現 することを目的としたもの。もう1つはホワイトノイズを介して 海の音を再び創り出すことを目的としたもの。どちらもチューブ を通して聞こえる音の親密さを訪問者に楽しんでいただける

木、3Dプリンターで制作した物体

# Whisper Tube Wood, 3D printed object (PLA)

Whisper Tube is a two part installation: one aims to replicate the experience of talking through a string telephone while the other aims to recreate the sound of the ocean via white noise. Both encourages visitors to enjoy the intimacy of the sounds that they hear through the tubes.



# だいさく

Daisaku

## コオロギが歌う

樹脂粘土、FRP、アクリル

現実のコオロギは、黒くて、暑さにも寒さにも弱く、割とすぐ死んでしまいます。小 さくて弱い生き物です。僕のコオロギは、中にガラクタ(どんぐり、葉っぱ、花び ら、風船の欠片、きれいな紐、アクリルの塊など)が詰められ、色鮮やかで丈夫で かっこいいです。みんなのびのび生きています。

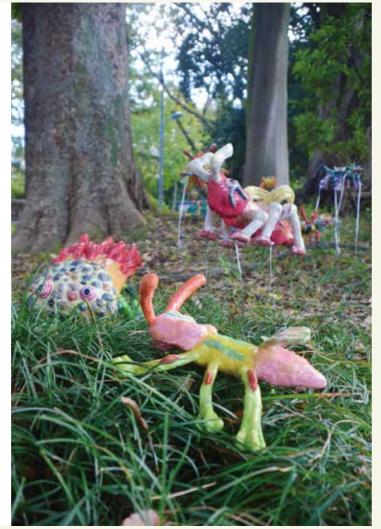
#### Crickets are Singing

ペインター、造形作家。色とりどりで 自由な世界を描き、精霊のような生き 物をつくっています。1986年生まれ。 2010年、早稲田大学第一文学部卒 業。2015~2017年、セツ・モードセミ Resin clay, FRP, acrylic

Real crickets are black, weak against heat and cold, and die relatively quickly. They are small fragile creatures. Stuffed with odds and ends (acorns, leaves, petals, balloon fragments, beautiful string, lumps of acrylic lumps, etc.), my crickets are colorful, durable and good-looking. They are living with vitality.







# 武蔵野大学 水谷俊博研究室

Musashino University, Toshihiro Mizutani Lab.

### Come Talk To Me

街を歩く人の手にはスマートフォン、耳にはイヤホン。自然の中に潜む囁きどころ か、自らの囁きにすら気づくことができない。現代なくなりつつある公衆電話は ある意味で存在感を放つ。そこに立ち寄り、ふと自然の中で、"向こう側の自分"に 囁く。普段は聞こえないはずの自らの本心に気づくきっかけとなるかもしれない。

Come Talk To Me Wood (Japanese cedar, Japanese cypress, etc.)

People walking in the town have smart phones in their hands, and headphones in their ears. Much less than being able to listen to the hidden whispers of nature, they cannot even realize their own whispers. While gradually disappearing today, public telephones do, in a certain sense, still retain a strong presence. Stopping at this public phone, which has appeared unexpectedly amidst nature, whisper to "yourself on the other side." It may be an opportunity to realize your true intentions, usually indiscernible in daily life.

建築の設計を専門としながら、空間デ ザイン、木工制作、アートワークショップ などを実践する建築家、水谷俊博が主 宰する研究室。主な代表作品に「里山 フィールドミュージアムビジターセン ター(越後妻有2015)」、「アーチの森 2010(武蔵野市CREANFES)」等。





# のぐち あやの

Ayano Noguchi

さまざまな手法・素材を組み合わせて。 ちょっとした小話や、遊び心を添えて。 日々、あれこれ、ものづくりを楽しんでいます。

## 根っこのしゃっくり。

ガラス、銅、はんだ

まだ、賑やかだった昼間の、ほてりの残る公園。草にまみれて、 聞こえるのは、空耳かなにか。「ぽく。」「かぱら・かぱら。」 「しゅぺぺ。」枝葉に引っかかった、おしゃべりのかけら。土深く 新芽の、かかとを打ち鳴らす音。人と自然の入り混じった場所 で、夕暮れに霞んでいく気配のそっちこっちを、拾って歩く。

### Tree Roots have Hiccups.

The park still releasing heat from the bustle of daytime. Covered in grass, is what I'm hearing only my imagination? Unintelligible sounds. Scraps of speech caught on the branches and leaves. The sound of a new shoot deeply striking through the ground. In a place where people and nature merge, I gather signs here and there as dusk casts its veil.





# 宮嵜浩(ボムライウエスト)

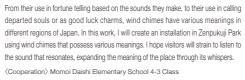
Miyazaki Hiroshi (BOMBRAI WEST)

立命館大学土木工学科卒業後、大阪府公立小学校 教員。東京美学校入学。アート活動開始。現在、 仁川学院小学校教員(兵庫県)。アートを始めとし て、教育、学問、旅行、アウトドアスポーツ等を通して、 世界をとことん味わえる活動をできたらと思います。

### The Whisper of the Color Red

風鈴は音の鳴り方で吉凶を占ったり、魂を呼ぶ存在であったり、幸運をもたらすもの とされる等、地域によって幅広い意味を持ちます。多様な意味合いを持つ「風鈴」 を用いたインスタレーション作品を善福寺公園内に設置し、その音を響かせる ことで場所の意味を広げ、その場所の囁きに耳を澄ませたいと考えています。

〈制作協力〉桃井第四小学校4年3組



Glass, red materials, lights

The Whisper of the Color Red





# 飯島祐奈

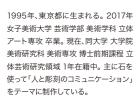
Yuna lijima

## 『ここだけの話』の距離

「ここだけの話。この前○○○○たんだよ。」「え?何?聞こえなかった。」 「だから~○○○○たんだって!!」「へ~。(またもや聞こえていない。でももう 聞き返せない。) それにしても、そんなに小さな声で話すことなの?」これが囁き の距離で繰り広げられる日常の会話。

# Distance "Just Between You and Me" Granite, paint

"Just between you and me. A few days ago, I went to..." "Uh, what? I didn't hear you." "You know, I went to ...!" "Is that so .(I still didn't hear what you said. But it was too late to ask again.) At any rate, do you really need to say it in such a small voice?" This is an everyday conversation that unfolds at the distance of whispers.







# 戸室太一建築設計室

Taichi Tomuro Architects

1961年生まれ。1985年早稲田大学理工学部建築 学科卒業。レンゾ・ピアノ・ビルディングワーク ショップ・ジャパン、アルヴァロ・シザ・アルキテット (文化庁芸術家在外研修員)、谷口建築設計研究所 などを経て、2006年戸室太一建築設計室設立。

### あらゆる風景を聴く

この作品は子供の頃によく作った潜望鏡の工作から着想していま す。善福寺公園の樹々の間に高さの異なる50㎝角の筒(潜望鏡)を 並べます。様々な方向を向いた筒を覗き込むと、公園の池や緑や空 がいつもとほんの少しだけ違って見えます。いつもと少し違った風 景を見て、世界の多様性を感じ取っていただければと思います。

# Listening to All Possible Scenery

Plastic boards, Mirrors, etc.

This work is inspired by the periscope I often made when I was a child. I will stand pipes (periscopes) of different heights at 50cm distances from each other among the trees of ZenpukujiPark. If one looks through the pipes, which face different directions, the pond and the greenery of the park will look slightly different. I hope that when looking at scenery ever so slightly different from the everyday, park visitors will sense the diversity of the world.





# **RITENUTO**bytac

ロンドン芸術大学卒。卒業後、ロンドンにてファッ ションデザイナーとして勤務。帰国後、某国内アパ レルブランドで働きつつ、衣装デザイナーとして活動 を開始。退職後、RITENUTObytacを立ち上げる。 映画、舞台、ライブ、ブライダル、様々な衣装をデザ イン制作。衣服を媒体としての作品発表も行う。

# <sup>ままや</sup> 偏き-棘の皮服

ポリエステル、ナイロン チワチワチワチワチフクチチクチクワフワフチフチフクフクフ ワフワチワチフチフワフワフチフチワチ

# Sasayaki - Garment of Thorned Skin

Chiwachiwachiwachifukuchichikuchikuwafuwafuchifuchif ukufukufuwafuwachiwachifuchifuwafuwafuchifuchiwachi





# **Nick West**

英国出身。本を主題にさまざまな素材を使って彼 自身の本を制作している。

### モスブック

私は、本がどのようなものでありうるかに興味を持っています。 今回は、苔で覆われた本-Moss Book-を作ります。 Moss Bookはその土地の自然素材に結びついています。公園を訪れ る人が、散策しながら、自分自身の物語に旅立つことができる ように感じてもらえたら!

### Moss Book

I am interested in what a book can be. 'Moss Book' connects the natural material of the landscape with what it can become. I plan to make a book made from moss. I want visitors to feel that they can embark upon their own stories while exploring



onomayu

兵庫県神戸市生まれ。多摩美術大学 工芸学科を卒業後、滋賀県信楽町に 移住。滋賀県立信楽窯業技術試験場

研修生修了。

Grow

「土や釉薬、素材そのものの美しさを伝えたい」と考え制作しています。美しい 木々との調和を意識しつつ、非日常な空間となるような展示にしたいと思います。

Grow

I create work imbued with the wish to convey the inherent beauty of materials such as clay and lacquer. While conscious of the harmony with beautiful trees, I would like to create a display that renders an extraordinary space.







# 黄 納川 **HUANG NACHUAN**

1995 中国 上海生まれ 2019 武蔵野美術大学彫刻学科 卒業

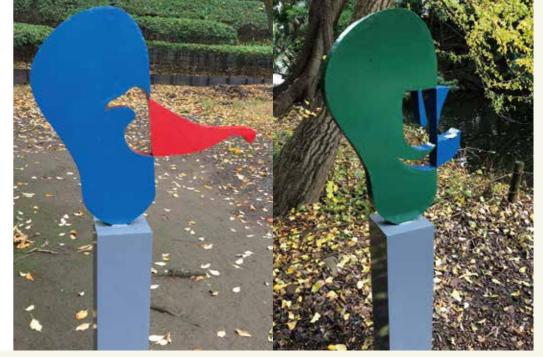
# whisper鳥 whisper滝

叫び声より耳に入るのは囁き。緑豊かな公園で歩くと野鳥の きれいな鳴き声が聞こえて、数歩足を進めて滝の音に気付き、 自然の囁きが耳に入る。体験したところで作品を展示すること によって多くの人に私が感じた自然の囁きを伝えたいと考えて

## The Whisper of Birds, The Whisper of a Waterfall

It is whispers rather than screams that reach my ears. When walking in the green park, the beautiful singing of birds can be heard, and advancing a few more steps one will notice the sound of a waterfall and hear nature's whispers. Through my

work, I wish to convey to many visitors the whispers of nature I



myself experienced.



# 三本木 歓

Kan Sanbongi

1990年 東京生まれ 2017年 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了

# 善福寺三門

糸、石、パイプ

古くは池の水が溢れ倒壊した善福寺のお堂。その寺院は再興する ことなく、名前のみがこの地に残った。園内の高台にコンクリートの 構造物がある。その佇まいを眺めていると、どこか三門のようにも 見えてくる。会期中この構造物は廃絶した善福寺の三門として私達 の前に顕現する。溢れだす水のイメージが時の流れを囁きかける。

# Sanmon Gate of Zenpukuji Temple

Long ago, the temple of Zenpukujiflooded with water from the pond. The temple could not be rebuilt, and now only its name remains. There is a concrete structure on a hill in the park. Somewhere, its appearance resembles a Sanmon-the gate of a Buddhist Temple. During the exhibition period, this structure will manifest itself as the Sanmonof the abolished ZenpukujiTemple. The image of water overflowing will whisper the passage of time.





# 安井ちさと

Chisato Yasui

### 水脈

一粒の水滴が訥々と言葉を編むように集まり、やがて流れとなり、大きな池となる までの変化、円環、循環、その中に在る普遍性に着目します。当たり前のように 在る恵まれた環境が、いかにして構築されてきたのか、その過程/ストーリーを、 陶の立体によるインスタレーションによって表現します。

### Water Vein

Single drops of water gather like stammered words, interweaving with one another to eventually form streams, and then a pond. I focus on the universality present in such transformations and cycles that led to the formation of the large pond in Zenpukuji. In an installation containing ceramic sculptures, I try to express the process or story of how this rich environment, whose existence is taken for granted, has taken shape.

2010年、筑波大学大学院芸術専攻修 了。夫と共に子供3人を育てながら、 茨城県結城市で陶芸制作を続ける。 近年は日本、ヨーロッパを中心に作家 活動を展開。一貫して日常における自 身の感情・感覚をモチーフとし、一個 人に内在する多面性を陶によって表現 している。

田附希恵

東京都杉並区出身 女子美術大学大学院在学。植物

などをモチーフにした作品を制作。主に鉄の丸棒を

使い、空間に線を引き、絵を描くように立体を造形

Kie Tatsuki

している。





# 深沢義一

FUKAZAWA Yoshikazu

1955年、東京生まれ。多摩美術大学大学院修了。 埼玉現代美術の祭典(埼玉県立美術館)、現代アー トコンペテイション(アートスペース・コア)空間を 造形しよう展(練馬区立美術館)、3・11感謝(3人 展)韓国日本大使館文化院シルクギャラリー。金属 造形作家集団ジリオ。アトリエベガ主宰。

# 土の音

地中では地球、地下水、根、地中の生物の音 地上では虫、草、枯れ葉、地表を吹く風の音

伝声管をヒントに、ふだん聞いてない音を聴く装置をつくる。

# 金属 Sound of the Earth

In the ground are the sounds of bulbs, water channels, roots, and living creatures. Above ground are the sounds of insects, grass, fallen leaves, and the wind that blows across its surface. And in the sky above are the sounds of wind and birds, and a distant murmur... Taking inspiration from voice pipes, I will create a device allowing park visitors to listen to sounds that are usually inaudible



# 風にはこばれて

小さく声を出した時に起こる小さな風、小さな音をより遠くまで 運んでくれる風。目に見えない風のかたちも植物の揺れる様子 や水の上に広がる波紋に隠れています。作品と作品の間をつな

ぐ風のかたちや音をご覧いただけますように。

# **Carried by the Wind**

A light wind blown with the uttering of a small voice; a wind that carries small sounds further into the distance-the shape of invisible wind is also hidden in the shaking of plants, and in the ripples that expand on the surface of water. I hope visitors will enjoy viewing this work and the spaces between, which are connected by the shape and sound of the wind.

Sakuyako Hiraki

ランドスケープ・デザインを専門とする。

善福寺公園にはラクウショウが植栽されている。ラクウショウ の木は、呼吸をするために地面から呼吸根を生やす。呼吸根は 普段聞こえない、木の呼吸が顕在化されたものと考えた。公園 内の樹木周辺に呼吸根を配置し、中から聞こえる音に耳を澄ま せることで「木の囁き」を感じるインスタレーションを行う。

#### Expiration

near trees in the park. By listening carefully to the sounds within, park visitors will be able to sense the "whispers of trees."









そして上空の風や鳥、遠くのざわめき...

平木 咲耶子

千葉大学園芸学部 庭園デザイン学研究室所属。





Zenpukuji Park is planted with a number of bald cypress trees. Their roots grow out of the ground in order to breathe the air. We cannot usually hear the sound of roots breathing, but in this work I considered a way of making the breathing of trees visible. Taking the form of an installation, breathing roots will be placed

# 栗田 昇

KURITA Noboru

# 水のきらめき 天使の囁き

雨は空から降り大地に浸み込む、地中を流れ、いつしか池に湧き出る、きらめく 水は水車を回し、静かな水辺に天使は舞い降り、そして優しく囁く......。

# Sparkle of Water, Whisper of An Angel wood

Rain falls from the sky and soaks into the ground, flows through hidden channels, and bubbles up into the pond unnoticed. The sparkling water turns the water wheel, an angel sweeps down and dances at the silent waterfront, and gently whispers...

武蔵野美術短大 工芸工業デザイン科卒業

自動車会社入社 開発従事

1991~96 米国駐在 2011 退職後、木材で

造形活動を開始 国分寺市「お鷹の道」に 水車を設置(毎週末)

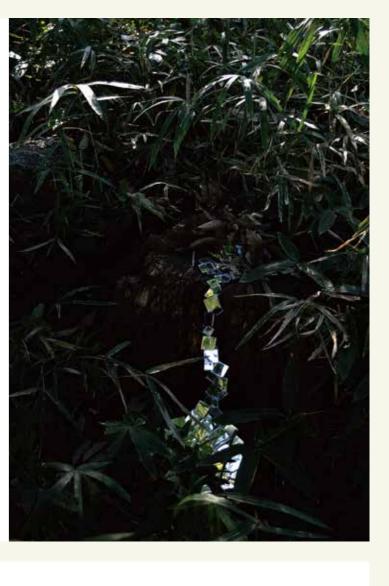
2015・16 日本クラフト展入選 2016・17・18 トロールの森 出展



#### ミラノ理工大学建築修士修了、建築 デザイナーとしてミラノを拠点に建築 空間やインストレーションなど幅広い 芸術活動を行っています。

the climate in a whisper from pureness.

Acrylic mirror



# 木村泰斗/nana nanaka

Taito Kimura / nana nanaka

#### 寒冷な波紋

「囁き」ささやきというテーマから、物理的に考え水面に現れる波(波紋)を連想し、 金属板、金属棒を使用して、波紋を立体的に表現している。また、金属板を重ねる 構成により、波紋同士の共鳴、波紋の動きを表現している。人、時間、によって作品 の見え方、感じ方が異なる作品である。各々に感じて、楽しんでください。

# The Cold Ripples

Brass, stainless steel

In considering the theme of "whispers," I associated whispers with the physical form of waves or ripples, and utilized metal sheets and rods to create concrete wave-like forms. In addition, I express the resonance between the ripples and their movements through the accumulation of metal sheets. Depending on the viewer and time of day, impressions of this work will surely differ. I hope visitors will enjoy it.







# 久木田 茜

章 元駿

空の滝

Skyfall

ZHANG Yuanjun

森の木々の間からたちあらわれ、小さな盛り上がった山から注ぐ鏡のようにきら

めく滝は、空の状態や色を反射し、枯山水の精神を内包している。晴れた日には 空は手の届くところで輝き、ほとばしる音とともに雨粒を集めながら、自然や気候

Being appearing among the woods and pouring from small mound hills, the

mirror waterfall embraces a spirit of Karesansui, reflecting the colour and the mood of the sky. A sky within reach shines on sunny days while collecting raindrops and sound in a sprinkle, secretly illustrates the beauty of the nature and

©Zhang Yuanjur

の美しさを純粋さからの囁きを聴きつつひそかに例示するのだ。

Kukita Akane

1987年生。2019年東京藝術大学修士課程先端 芸術表現専攻修了。「人が過去に作り出したものと 自然との境界」をテーマに、陶器や金属などを「自然 から切り離された人工物」と捉え、装飾物や植物を モチーフに制作を行なっている。

#### 一葉一環

植物の生態には規則性を持った理想的な秩序が存在している と言われている。私の制作は、自然というカオスの中から、理想 的な秩序へ形態を整えてみる。そうした時、普段見過ごしがち な存在の自然という複雑な生態系から、宇宙のような別の世界 を見いだせるかもしれない。

# 真鍮、焼成土 The Cosmos of Plants Brass, ceramic clay

It is said that there is an ideal order with regularity in the ecology of plants. From out of the chaos of nature, my work will arrange forms into an ideal order. In so doing, it may be possible to find another world resembling the overlooked universe existing in the complex ecosystem of nature.





# 2.5 architects (森藤文華+葛沁芸)

2.5 architects
(Fumika Morito + Shingei Katsu)

女性建築家2人による一級建築士事務所。"Nature as decorative art"をテーマに建築のみならず、アート、プロダクトデザイン、インスタレーションと活動の場を広げている。中之条ビエンナーレ、かけがわ茶エンナーレ等に参加。



#### 紡ぎ歌

普段は意識することのない、公園に発生している微細な音を捕らえ、その軌跡を展示します。さながら獲物を捕獲する蜘蛛のように張り巡らした糸。そこに生じた空間の濃淡は、音の所在を密やかに教えてくれるでしょう。初日のパフォーマンスでは、二人の針子が糸を紡ぐ様子をご覧いただけます。

# Yarn of the sounds

Thread, wire, etc.

A work that captures subtle—and often overlooked—sounds occurring in the park, and presents their traces. A thread stretches like a spider's web to capture prey. The intensity of the space it creates will secretly reveal the origin of these sounds. In the performance on the first day, two performers will work like needles to spin the yarn.



# 高島亮三

TAKASHIMA Ryozo

# 美術中

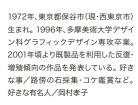
旗、横断旗入れ

本作品は、企画の段階から会期中に至るまで、それを「美術作品」と認識させる要素を排するように展開した。結果、この作品が「美術作品」であるという刷り込みから鑑賞者を解放することで、その対象に身構えることなく、各々の自由な感性で対峙してもらい、自然な流れで「美術の中」に介入してもらうことを目的とした。

#### **Arting Now**

Hand flags, road-crossing flags

This work developed in such a way as to eliminate elements from the planning stage through to the end of the exhibition that would lead to its recognition as an artwork. With the objective of bringing about organic interventions in art, what resulted was the release of the work from its designation as an artwork by the audience, allowing viewers to confront the work with a liberated sensibility free of preconceptions.







# Collectif bim

フランス、リヨンを本拠地にした総勢20人以上のアーティストによるパフォーマンスグループ。公共の広場、病院、美術館、路上などのさまざまな場所で、その場の要素を活かしたサイトスペシフィックな作品を創作、上演する。2013年以降、フランスの国内外で、50以上のプロジェクトを実施。メンバーは、俳優、建築家、演出家、衣装デザイナー、脚本家などさまざまだが、今回はそのうちの4人が来日、善福寺公園での1週間の創作を経て、公園を周遊する形でト油した。

A performance group based in Lyon, France with over 20 artists. They create and perform site-specific works that make use of the elements of the places such as public squares, hospitals, museums, and streets. Since 2013, more than 50 projects have been carried out. Members include actors, architects, directors, costume designers, screenwriters and so on. Among them, four performers visited Japan for Trolls in the Park 2019. They performed around the Zenpukuji Park after spending one week to create the performance.

https://www.lecollectifbim.com



### Genius Loci 場の精霊

公園をぶらつきながら(stroll)、あなたを新しい善福寺公園を発見する旅へと誘います。演劇やダンスのようでいて少し違うこのパフォーマンスは、風景やそこにあるものから触発されて、"場の精霊"を目覚めさせるのです。

#### Genius Loci

On the occasion of a performance-stroll created specifically for the festival, Collectif bim is inviting you to (re)discover Zenpukuji Park in a new light. Inspired by landscape and architecture above all, close to both theatre and dance, this performance will reawaken the "spirit of the place".

来日メンバー Joseph Bourillon, Pierre Cuq, Éloïse Hallauer, Noé Mercier



# キャラバンぜんぷく

# Caravan Zenpuku

#### オンドズ

西尾賢、チャンキー松本らの作詞・作曲・歌による音頭 を、橋本フサヨがかっぽれ風に振り付け。「西荻案内 音頭」「たがやせ!どじょうおじさん音頭」「酪農音頭」 を観客参加で踊る。ワークショップ付き。

#### 三毛猫の音読屋(洲永敬子)

2008年より西荻窪在住。マイム×朗読の舞台などに 時々参加。「かぽーれ・かぽーれ・よいとな」のメンバー でもある。

#### 五反舎はなたれ組

五反舎再び! 高尾の山で間伐をする森林ボランティア グループの五反舎、今年も善福寺に参上。

#### 鈴木秀城

東京マイム研究所にて並木孝雄に師事。橋本フサヨ氏 と「ぜんぷくトリヲ」を組み、トロールの森に参加する こと多数。『いのちのオンパレード』、『タロウ』を発表。



# 踊らにゃソンソン! 見なきゃソンソン!

公園のあちこちで、さまざまなパフォーマンスが展開!

〈野外ステージ近く〉

オンドズ 「踊らにゃソンソン!」 三毛猫の音読屋 「太宰治作『灯籠』」 五反舎はなたれ組 「バルーン」

〈遊具広場付近〉 鈴木秀城

:城 「パントマイム」

# Dancing Fool! Watching Fool!

There will be numerous performances taking place around the park.

⟨Stage⟩

Ondoz 《Dancing Fool!》
The calico cat's Reading Room 《DAZAI Osamu's Lantern》
Gotansha HANATARE 《Balloon》

⟨Yugu-Hiroba⟩

SUZUKI Hideshiro 《Pantomin



# Cozy Caravan

2010年より毎年5月、西荻窪にて「西荻窪ジプシー・ スウィング・フェスティバル」を開催。都内各所で 演奏活動をしています。

### ジプシー・スウィング・ライブ

ヨーロッパのジプシー音楽とアメリカのジャズを融合した「ジプ シー・スウィング・ジャズ」を演奏します。

# **Gypsy Swing Live**

A fusion of European gypsy music and American jazz culminates in "Gypsy Swing Jazz".





# haruka bird

#### 光のささやき

光のささやきは、地から、海から、そして天から、いつも私たちに降りそそいでい ます。光のささやきを言葉にすると: 優しさ、許し、愛だったり。目では見えない けれど、耳を澄ませば聴こえる、心を澄ませば感じることができる、そして自身の 中にもそれらが芽生えてくるのです。

### Whispers from Above

オーストラリア育ち。2003年から 様々なアート活動を始める。筝、唄、 絵、身体即興、弾き語り、エアリアル パフォーマンス。2011年舞踏家と共に 筝で即興ライブツアーをドイツで行う。 2012年瞑想を始める。2015年身体 も即興し始める。すべての人に自分の 中のキラキラを見つけてほしい。

From mother earth, from the great blue seas, and from the heavens above, whispers of Light enter into our beings. In words, they can be expressed as: kindness, forgiveness and love. You cannot see Light but if you listen carefully, you will hear Truth, and if you go deep within, you will discover a fountain of Light. And as you do so, you will find that you yourself become the Light.





# カワムラ アツノリ

KAWAMURA Atsunori

## 動くべきとき動いて、そうでないときは動かない

即興で踊ります。昨年も同じタイトルでやりました。だいたい同じことやります。 踊って、話して、また踊る。観てくれる人ともっと話しして意見交換したいです。 ダンスとは何か?というダンスなので、観る人の意見でいろいろ変わると思います。

### Move when you need to, be still when you don't

Improvised dance. Dance, talk and dance some more. In a dance to question dance, the perspectives of the audience are sure to change.





学生演劇→黒テント養成所→ダンス とか身体表現系→演劇回帰の一面も →演劇ともダンスともどっちつかずで →今に至る。パフォーマンスグループ 「初期型」主宰。

# かぽーれ かぽーれ よいとな

Kappore Kappore Yoitona

桃川流かっぽれの橋本フサヨの指導による善福寺 地域のかっぽれ踊りのグループ。2009年から「ト ロールの森」パフォーマンス部門参加。

### 踊れ! かっぽれ

粋な江戸芸としての情緒が見どころ、定番「伊勢音度」「奴さん」 「深川」そして「かっぽれ」のほか、森繁久彌の歌う「フラメンコ かっぽれ」も踊ります。また、観客も参加して一緒にかっぽれを 踊るコーナーもあります。

# Dance! Kappore!

The sentiment of Kappore, a refined style of dance from the Edo period. is its highlight. Besides standard numbers, 'Ise ondo', 'Yakko san','Fukagawa','Kappore',originally choreographed 'Flamenco Kappore' greatly excited the audience. Let's dance together!





# Life Garden

#### Life Garden

シンプルなギターと叙情的な歌詞で独自の世界を描く ギター・ヴォーカル kei のソロ・プロジェクト。

#### みきたまき

パフォーマンスユニット DamaDamTal 主宰。

#### 無音

静寂と自由は、最大の財宝である

-L.V.Beethoven

微かな音楽と囁くダンスの小さなLive。少し離れただけで無 音になりますか? その時、何が聞こえますか?

音楽:Life Garden、ダンス:みきたまき、衣装:RITENUTObytac

# Silence

"Silence and freedom are the greatest treasures" - L.V. Beethoven

An unassuming live performance with subtle music and a dance of whispers. Is there silence if you move only a short

distance away? What can you hear? Music: Life Garden, Dance: Miki Tamaki, Costume: RITENUTObytac



# 池の畔の遊歩音楽会チーム

Team Promenade Concert around the Pond

鳥越けい子(企画&構成) **チェ・ジェチョル**(踊り&チャンゴ) トチアキタイヨウ(踊り&ナヴィゲーション) **ののりこ**(踊り)

珊月花[さんご・花ヲ・月姫虹](歌舞音曲)

青山学院大学総合文化政策学部鳥越ゼミ学生

# 池の畔の遊歩音楽会 2019 音のすむ森に捧ぐ! Vol.10

善福寺の池は、なぜここにあるのか? ここではこれまで何があったのか? 池の畔を歩きながら体験する各種の活動・パフォーマンスが、土地の 記憶を呼び覚まし、その歴史を紐解き、この地域の風土に想いを馳せる 不思議な音楽会。10年目を迎える今年は、「池の畔の囁きガイドブック」 と共に、この地域の歴史を辿り、その風土に思いを馳せました。

# A Pondside Walk Concert 2019: dedicated to the forest, a habitat of various sounds vol.10

How did the pond come to exist here? What events have taken place on this ground? This wondrous promenade concert will awaken memories of the land and immerse visitors in the history and spirit of the area through narration and performances experienced while walking around the pond. Celebrating its 10th year, with the "Guidebook of the Whispers from the Pond", we followed the history of the region and thought about its climate.





# ソマキとクボ

somaki to kubo

大学生。身体を使った演劇やパフォーマンスをして

大学生。美術を学び、パフォーマンスもしている。

#### ソマキとクボ

友達。就活生。遊んだりパフォーマンスをしたりし ている。

### 歩く人

私は歩き続ける。日々のせわしなさ、強いられる協調性に従い も逆らいもせず、自分の意思で土を踏み、歩き続けてみる。 (6時間かけて公園1周を途方もなくゆっくり歩いています。 一緒に遊ぶことはできませんが、見つけてもらえたら嬉しい です。)

## **Walking Person**

I keep walking. Neither obeying nor opposing daily nuisances and forced cooperation, I tread the earth of my own free will, and continue walking.

(Over a six-hour period, we will walk tremendously slowly around the park. We cannot stop to play or talk, but we would be happy if visitors come to find us.)



# ラジオぱちぱち

Radio88

「子どもたちと、子どもの心を忘れない大人のための 自由ラジオ」をモットーに、善福寺地域で活動して いるグループ。2001年4月開局。「トロールの森」に は2008年より参加。オープンカフェを運営すると ともに、2010年より連続ラジオドラマ「黄金バット」 を舞台化した芝居を上演。

ラジオぱちぱち活動日記 https://radio88.exblog.jp/

# インターネットラジオ@トロールの森

アーティストへのインタビューやアートツアーの様子、公園を 散歩する人とのトークなどをYouTubeやFacebook等で発信 します。11/10(日)と17(日)には、公園内に放送ブースが出現!

YouTube RADIO88-LIVE

https://www.youtube.com/ 「ラジオぱちぱち」で検索

# Internet Radio@Trolls in the Park

Interviews with participating artists, art tours, and conversations with park visitors will be broadcast via YouTube. Facebook and other online platforms. A radio booth will appear in the park on 11/10 (Sun) and 17 (Sun)!



